

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年12月13日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0873900401		
法人名	特定非営利活動法人 ファミリー会		
事業所名	グループホーム Sunふぁみりい	ユニット名	
所在地	〒300-0121 茨城県かすみがうら市宍倉6211-8		
自己評価作成日	平成24年6月1日	評価結果 市町村受理日	平成24年11月20日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2011_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0873900401-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2011_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0873900401-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=022</a>
-----------------	---

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成24年8月8日	評価確定日	平成24年11月9日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>私共のグループホームは、ご利用者様にとって真の家族のような存在でありたいと思っております。</p> <p>時には親子のような、又時には孫と接するような暖かいふれあいを大切に日頃の介護をさせて頂いております。</p> <p>平成24年度12月に、新しい施設に引越しをしまして、広くなりましたホーム内では、今まで以上に幅広いレクリエーションや体操を取り入れました。理念にも掲げている通り笑顔が花咲く笑い声のあるホームです。今後も変わらぬ努力をしていきます。</p> <p>また、オープンから行なっておりますターミナルケア（週末期）も医師や家族と繰り返し話し合い、全職員で方針を共有しケアにあたっていきたくと考えております。</p>
--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>移転により数ヶ月前に建てられた事業所で、生活空間である2階への移動用にエレベーターを設置しているほか、車いす対応の洗面台を備え付けたり、廊下やトイレ、風呂場などは広いスペースを確保し、車いす使用の利用者でも快適に過ごせるよう工夫をしている。</p> <p>代表者は利用者を家族の一員として捉えており、管理者や職員は代表者の考えに基づいて利用者の気持ちを最優先に支援をしている。</p> <p>開所当初から看取り支援に力を注いでおり、家族等のほか協力医療機関の医師も感銘を受けている。</p> <p>利用者一人ひとりに無線チャイムを携帯してもらい、職員が離れていても利用者のもとにすぐに駆け付け、希望にそった支援ができるよう工夫している。</p>
---

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ホーム内理念と地域密着型の理念と二つに分け、明るい笑顔の絶えないホームづくりと近隣の方とのふれあいも大切にし、輪を広げていこうと努力しています。理念は全職員で共有するため毎朝復唱し、実践につなげています。	「地域との、ふれあいの[わ]」や「笑顔が花咲くホーム」との理念を事務室や職員室、応接室、相談室、廊下などに掲示するとともに、管理者と職員はミーティング時に唱和して確認し、実践に結び付けている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	引っ越して間もないですが、散歩や畑仕事を通じて近隣の方とふれあう機会に恵まれており、ご利用者様も外の方とのお話も楽しみにしております。お花や野菜を頂いたり、集落の区長さんやボランティアの方には、運営推進会議にもご協力頂いております。	平成23年12月の事業所移転と同時に町内会に加入している。 職員は引越しの整理などで町内会の清掃活動に参加していないが、町内会長がお知らせなどの配布物を届けに来てくれている。 利用者は天気の良い日は事業所周辺を散歩しながら地域住民と挨拶を交わしたり、事業所の駐車場脇に設置している自動販売機を利用する地域住民と会話を交わしているほか、野菜を頂くなど、日常的に交流している。 家族等や地域住民に9月に開催する事業所の納涼祭への参加を口頭で呼びかけているほか、納涼祭の案内が掲載されている広報誌を家族等や地域住民に配布するため、現在作成中である。 1ヶ月に1回尺八演奏などのボランティアを受け入れ、利用者が地域の人々と交流ができるよう努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	当法人では、居宅介護支援事業も行なっておりますので近隣の方がご相談にいらした時には、いつでも支援できる体制にあります。又、普段のふれあいの中で気軽にホーム職員に相談などして頂いております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	二ヶ月に1度の会議では、事業所の状況や活動の報告をおこなっており、参加者の方からのご意見を頂きまとめ、全職員へ回覧と報告を徹底し、サービス向上に努めております。	運営推進会議は利用者の代表や家族等の代表、地域包括支援センター長、町内会長、民生委員、近隣住民、ボランティア、代表者、管理者、介護支援専門員で2ヶ月に1回開催している。 会議では利用者の生活の様子や行事、外出の報告をしているほか活発な意見交換をしている。 「外出する時にはボランティアの協力を得ると良い」との委員からの意見を受け、ボランティアの支援を得ながら遠方への外出を実施している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	管理者は、日常的に意見交換や相談、情報交換に努めています。月に一度は、介護相談員を向かえ職員やご利用者様と交流、相談の場を設けております。	管理者は月1回市担当者を訪問して事業所の実情や利用者の様子などを報告するとともに、市担当者から郵送や電話で介護保険制度や研修の情報を得ている。 「いつまでこの事業所で暮らせるのか」や「支払いのお金はどうなっているのか」など、生活保護を受けている利用者の不安を市担当者へ電話で伝えるとすぐに来訪して利用者の相談に応じてくれるなど、日頃から協力関係を築いている。 月1回介護相談員を受け入れ、利用者の相談にのってくれたり心配ごとを把握し、事業所のサービスの向上につなげられるよう協力を得ている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ホーム内研修にて、定期的に虐待、身体拘束についての職員への周知をしています。目につく場所へポスターや資料も用意しています。また、緊急やむを得ない場合は家族と話し合い同意書のもと行なうことがあります。玄関の施錠については、不穏なご利用者様が居た場合に限り施錠することがあります。	管理者と職員は月1回開催する職員会議の中で身体拘束の弊害を話し合い、身体拘束をしないケアに努めている。 現在、医師の診断のもと、骨折している利用者2名に対し転倒防止のため家族等の同意を得て車いすベルトを装着しているが、定期的に医師の診断を仰ぐとともに、管理者と職員は身体拘束解除に向けてミーティングで話し合っている。 通常玄関は施錠していないが、利用者が不穏な時には一時的に施錠する場合がある。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束同様、研修にて職員へ周知。また、日頃から高齢者への接し方、話し方、基本的な事を怠らないよう指導しております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者研修やその他研修にて学ぶ機会を設けておりますが、実際にそれらを活用できる支援は出来ておりません。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際には、ご利用者様やご家族に十分に理解して頂く為に重要事項説明書をはじめゆっくと説明にあたっています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会議を年に2回設け、理事長、管理者、ケアマネージャー出席のもとご家族との意見交換や相談、近況報告などを行なっております。	管理者と職員は利用者や家族等が意見を出し易い雰囲気づくりに努めるとともに、利用者からは日々のふれ合いの中から、家族等からは面会時や年2回の家族会開催時に意見や要望を聞く機会を設けている。 家族等から「電話に出られない場合があるので事業所からの連絡手段にメールも取り入れて欲しい」との要望があり、希望する家族等にはメールで対応している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に一度職員の話し合いの場を設け、職員からの意見や、提案を管理者がまとめ理事長へ報告し、幹部会議にて話し合い職員へ報告連絡を行なっています。	代表者や管理者は月1回職員会議を開催して職員の意見や要望を聞く機会を設けるとともに、日々の生活の中で意見等を気軽に出来る雰囲気づくりに努めている。 職員から「休憩時間が日によって異なるので、全職員が平等に休憩を取れるようにしてほしい」との提案があり、代表者と管理者は午前と午後の時間帯に交替で休憩が取れるよう改善している。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	給与、労働時間に出きるだけ配慮し、向上心を持って介護にあたるよう、個々に目標を持って働いてもらっています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	興味のある研修については、積極的に参加するよう声かけしています。また、救急救命の研修については、必ず受けてもらい緊急に備えられるよう、全職員で受講しております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	代表者や管理者は同業者との交流する機会をつくり意見交換や情報交換等はしております。しかし相互訪問等の活動はお互いの事情や都合がつかず、実現できておりません。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、ご要望などに耳を傾け、本人の安心を確保するための関係づくりに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	大事なご家族をお預かりする務めとして、安心してご利用できるように、十分な説明をはじめ、ご要望やお悩みなどにも耳を傾けるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、ご家族と話し合いを密にし、まず必要としている支援を見極めながら他のサービスも必要であれば、それを含めた対応が出来るように努めています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人が介護されるという一方の立場におかず、日常生活を共にする（家族）のような関係づくりを築いております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人と家族の絆を大切にしながら、共に支えていく関係を築いております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	今まで大切にしてきたご近所付き合いや、お友達との交流を入所後も失わぬように、手紙や電話で連絡を取り合っているように支援しています。又、遊びに来て頂いたりこちらから職員とお顔を見に行ったりするなどの支援も大切にしております。	職員は利用者が馴染みの店や美容室、友人宅、墓参りなどに行きたいとの要望があった場合は同行するとともに、墓参りでは利用者と職員で草取りをしたり、墓の掃除をするなど、希望にそった支援をしている。 家族等の協力を得ながら利用者が希望する馴染みの店で買い物ができるように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立の無い、利用者同士が関わり合い支えあえる支援に努めております。職員が間に入り、話し合いのきっかけづくりや、レクリエーションでの交流などもしながら、より一層の支援が出来るよう努力しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了してもこれまでの関係を大切にしながら必要に応じて本人や家族のフォローし、相談支援に努めております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの思いや暮らし方の希望は勿論、意向の把握に努めております。困難な場合は本人本意に検討し、職員一同で話し合いをしながら意向に添えるように努力しております。	職員は日々の生活の中で利用者と会話を交わしたり、利用者のつぶやきから思いや意向を把握してる。 職員は思いを表出できない利用者には言い出し易い親密な関係を築くため、居室で日々の生活の話や利用者の好きな事を話しながら表情や反応で察するとともに、入居時のアセスメントを活用したり、家族等から話を聞いて思いや意向の把握に努め、代表者や管理者、職員で検討している。 把握した内容はミーティング時に報告するとともに、全職員が必ず確認する連絡ノートと個人ファイルに記録し、全職員で共有している。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所する前には、必ず本人と家族に面会し、生活歴や、これまでのサービス歴などを把握して今後のサービスに取り入れるよう努力しております。			
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの1日の記録を取り、水分・食事の摂取量、血圧、体温、血中酸素、排便の記録や精神の状態なども全職員で把握できるようにしています。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、ご家族との話し合いやケアマネ、担当者との話し合い、それぞれの意見を出し合い現状に即した介護計画を作成するようにしています。	介護計画は利用者の意見や要望を取り入れるとともに、家族等の面会時や電話で聞いた意見等を反映させて作成している。 利用者の現状に即した介護計画を作成するため、職員は月1回利用者一人ひとりのADL（日常生活動作）の状況などを記録している。 検討会議を開催し、介護支援専門員が協力医療機関の医師の意見や職員の意見を取り入れた介護計画を作成するとともに、月1回モニタリングを実施して3ヶ月から1年毎に見直し、利用者や家族等の確認を得ている。 利用者の心身の状態に変化が生じた場合は、随時現状に即した介護計画に見直している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の記録など、日々の様子やケアの実践、結果、気がついたことを職員同士の意見交換、情報の共有に努めて介護計画の見直しに活かせるよう努めております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	職員は、利用者の希望にそえるよう自宅や友人宅、又は行きつけの美容院などへの送迎と同行など支援し、利用者の馴染みを継続維持できるように心がけております。（ご希望があればなるべく意に添えるようなサービスを提供いたします。）		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	本人が出来ることは、出来るだけご自分でして頂き職員が出来る力を奪わぬように見守りやフォローするなどの支援をしています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医が月2回、往診に来てくださいます。（内科・心療内科）その他にも歯科医、眼科も月1度往診。入所前にかかりつけの病院等がある場合は、希望により受診できます。	契約時にかかりつけ医の受診も可能であることを伝えたくて利用者や家族等の意向を確認し、現在は利用者全員が協力医療機関を受診している。 月2回協力医療機関の医師による訪問診療を支援するとともに、週2回協力医療機関の看護師が来訪し、利用者の健康管理をしている。 受診結果はすぐ家族等に電話やメールで報告するとともに、記録して全職員で共有している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ナース訪問は月8回あります。職員は利用者の変化や状態を訪問時に伝え、相談し、個々の利用者が適切な処置、受診が受けられるように支援しています。		



☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際できるだけ早期に退院できるように病院関係者と情報交換や相談をしながら退院の時期や状態を考えています。また、入院中も認知が進まないように、病院へ見回り、声かけや介助なども支援しています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に重度化、終末期対応が出来ることを説明し、（看取りに関する同意書）にて承諾を頂いております。終末期は主治医や家族、職員と方針を共有し悔いの残らない支援を心がけています。	契約時に重度化や終末期における事業所の指針を利用者や家族等に説明し、書面で意向を確認するとともに同意を得ている。 10年前から看取り介護を実施しており、利用者や家族等の意向を踏まえ、状態の変化に応じて繰り返し話し合うとともに、段階毎に意思を確認しながら協力医療機関の医師や看護師、代表者、管理者、職員、家族等で連携して看取りを実施している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急救命の研修を全職員に徹底させています。また、定期的にホーム内研修をマニュアルに沿いながら行なっており、実践力を身につけています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練や消火器訓練を定期的に行い、全職員が利用者をスムーズにかつ安全に非難できるように備えております。また、震災や自然災害に備え一人1個の避難用具や非常食も準備しています。	年2回消防署立会いや夜間想定を含む避難訓練を近隣住民の参加を得て実施している。 避難訓練の実施記録を作成し、訓練前の利用者や職員の状況のほか、利用者の訓練の実施状況を詳細に記載している。 訓練後は月1回開催する代表者や管理者、職員が参加して行う職員会議の中で訓練の反省点や課題などを話し合っているが、記録に残すまでには至っていない。 水や粥、食料、薬品類、リハビリパンツ、パッドなどを備蓄しているほか、一人ひとりの非常用持ち出しセットを備えている。	避難訓練で明らかになった課題の解決に向けて話し合った内容を記録に残すとともに、代表者や管理者、全職員で共有し、確実な避難誘導ができるよう取り組むことを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの尊厳を大切にしながらプライバシーを損ねない対応の仕方に気を配りながら言葉かけなどしています。	職員は利用者一人ひとりの生活歴や性格を把握したうえで言葉遣いに配慮しながら人格を尊重した対応に努めている。 職員は排泄介助時には利用者に小声で声をかけ、気配りしながらトイレ誘導をするとともに、女性の利用者が男性職員による介助を嫌がる気配を感じたら女性職員が対応するなど、利用者のプライバシーを損ねない対応に努めている。 個人情報書類は代表者の部屋の鍵のかかるロッカーに保管している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の希望自己決定の支援を、日常生活の中で出来るよう働きかけています。			
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に添うように支援している	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、個々のペースを大事にして今日は、どのようにして過ごしたいか、希望に添うように支援しております。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の希望や少なくとも二ヶ月に一度は声かけして、理美容院に行っています。希望者は毛染めやパーマ、顔そりも行ないます。毎日のことでは、洗顔や入浴後もお肌の手入れは欠かしていません。			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	その日の状態にもよりますが、野菜の皮むきや下ごしらえ、方付けなど職員と協力しながら準備等行なっております。また、近くの直売所に散歩がてら新鮮な野菜を調達しにも出かけます。共に作ることで、さらに食事でも美味しく感じることができます。	利用者はできる範囲で料理の下準備や後片付けを行っている。 職員は利用者と同一テーブルを囲みながら楽しく食事ができるように支援している。 献立は管理者がカロリー計算し、利用者の健康に配慮した食事となっているが、利用者が嫌いな献立や健康面から食べられない献立の場合には代替品を用意したり、利用者の状態に応じて刻み食やミキサー食にして美味しく食べられるよう工夫をしている。 利用者と職員が自家菜園で一緒に収穫した茄子やきゅうり、ゴーヤ、トマト、とうもろこしなどを食材に取り入れ、食事を楽しんでいる。 利用者の希望にそって寿司屋やファミリーレストランで外食が楽しめるよう支援している。 雛祭りや七夕、クリスマス会、誕生会などの行事時には寿司の出前を頼んだり特別食を提供しており、利用者の楽しみとなっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の状態に応じて、キザミやミキサー食対応にし、医師の指導の下全体的に塩分控えめを心がけております。食べる量や水分量も個々に違いますので、職員がそれを把握し摂りすぎず、または不足しないように支援をしています。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事前には唾液を促すため、口腔体操を取り入れ、食後には、できることは自分で行い、口腔内が清潔に保てるように洗浄、舌の汚れなど口腔内をチェックしています。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	食事やお茶の前後には、必ず声かけをし、トイレに誘導し排泄をトイレで出来るようにしています。また、一人ひとりの排泄のパターンを表に残し職員が把握しています。退院後には、ADLも落ちて戻ってきますので以前の状態になるように努力しています。	職員は排泄チェック表を活用して利用者の排泄パターンを把握し、利用者一人ひとりのタイミングに合わせてトイレ誘導をするとともに、パッドを活用したり居室にポータブルトイレを置き、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援をしている。 職員は利用者が失敗した場合は周囲に気付かれないように居室や風呂場に誘導し、利用者の自尊心を傷つけないように配慮している。 利用者は無線チャイムを携帯しており、トイレに行きたい場合はいつでも職員を呼ぶことができるため失敗が少なくなり、利用者の安心につながっている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事には、野菜や根菜類、また乳製品などをバランスよく取り入れるようにしています。また、適度の水分補給やラジオ体操やリズム体操、散歩などを取り入れて個々に応じた予防に取り組むようにしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	自宅で生活していた時は、どの時間帯に入浴していたのか確認し、なるべく希望の時間帯に入れるように配慮しています。	毎日午後の入浴を支援している。 入浴の度にタオルを用意しなくて済むよう脱衣所に利用者一人ひとりのタオルなどが入ったボックスを置いているほか、脱衣所の壁には利用者が洗髪した日や入浴、シャワー浴などの入浴内容の記録を掲示し、利用者が今回はどのような入浴をするか選択し易い工夫をしている。 入浴を拒む利用者にはタイミングを見計らってさりげく誘導をしたり、「綺麗になりましょう」や「さっぱりしますよ」などの声かけをしながら入浴ができるよう支援している。 男性の視線を気にする女性の利用者には女性の職員が担当するとともに、次に入浴する利用者が脱衣所付近で待つ場合があるため、心情を察して入浴順番を女性同士の間にするなどの配慮をしている。 入浴剤を利用したり柚子湯を取り入れ、入浴が楽しめるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりが自宅でどのようなリズムで生活していたのか家族や本人から聞き、本人にあった休憩をして頂いたり、安心して眠れるよう支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主治医のご指導の下、利用者の薬の内容、用法や用量、副作用について理解するよう随時学んでおります。薬の服薬時には、利用者といつ飲む薬か、名前は間違えないか確認を必ず行い、間違えないように努めております。また、利用者の体調の変化を見逃さないようにバイタルチェックもかかせません。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々生活していく中で、自然と自分の役割を利用者同士や職員との関係の中で作り上げていると感じます。食器を拭く人、片つける人、洗濯をたたむ人、それぞれを責任を持ち楽しみながら出来るように支援しています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけるように支援している	その日の希望により、友人宅へ行ったり、買物へ行ったり相手方と連絡を取り合いながら送迎や、介助を行なっております。また、彼岸やお盆等のお墓参りにも希望があればお連れしています。イベントなどへ行く際には、地域のボランティアさんや民生委員の方にも声をかけ、参加して頂いています。	利用者は天気の良い日は毎朝早朝に事業所の周辺を散歩している。 毎月外出イベントがあり、イベント毎に担当職員が決まっているため、担当職員は外出先で利用者が困ることがないように下見をし、休憩場所や駐車場、トイレなどを確認しているほか、家族等やボランティアの協力を得ながら代表者や職員で利用者全員の外出支援を行っており、利用者の楽しみとなっている。 利用者から急な外出の希望があった場合は、利用者の体調を考慮したうえで一日の日課を変更してでも希望にそった外出支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物や食事に出かけたときには、できる方にはご自分のお金で、ご自分で支払いができるよう支援しています。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀はがきや、暑中見舞いなど用意したはがきに家族や友達へ書いていただいたり、書けない利用者には、職員がお手伝いをさせていただきながら作成しています。電話も、かけたい時は出来るように支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には心が和むよう季節の花を置き毎日目で匂いで感じて頂いています。ホーム内も季節にあった空間づくりを心がけ、居心地のよく過ごせるように工夫をしています。トイレや浴室、廊下等も混乱や不安をまねかない様、配慮しています。	事業所は移転して間もないことから新しい建物で、利用者と職員は掃除と整理整頓に心がけ、玄関や廊下、食堂兼居間などの共用空間は綺麗に整えられているほか、つまづき防止のため床に物を置かないようにしている。 利用者の生活の場所は2階となっているが、エレベーターが設置されているため足への負担は少ない。 居間兼食堂にはテーブル二つとテレビやカラオケ用の機械が設置されているほか、大きな窓から多くの光を取り入れ心地よい風が吹き抜ける環境となっており、利用者同士の団欒の場となっている。 車いす対応の洗面台を設置するとともに、車いす利用の利用者も快適に過ごせるよう廊下やトイレは十分なスペースを確保している。 真っ白な壁には外出先で撮った利用者の思い出の写真を掲示している。 職員と利用者で制作した季節感のある切り紙を飾っている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食卓を皆さんで囲み、和気あいあいと過ごせる空間や、ソファースペースでは、ゆっくりと過ごしたり談話を楽しんだりする空間を作っています。ホールが広がったので日のあたる場所には椅子を置き、日向ぼっこもできますし、バルコニーでは、外の空気を楽しみながらお茶もできます。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各利用者に担当者をつけ、普段の居室での生活が、より居心地よく清潔を保ち、過ごせますように一緒に考え、必要なら一緒に買い物に出かけたりしています。また、自宅から使い慣れた物を持ち込み、タンスなどの他冷蔵庫なども居室に置かれている利用者もおります。	居室には沢山収納ができるようクローゼットやタンス、整理棚が設置されているほか、エアコンやベッド、カーテン、掛時計、掛扇風機、カレンダーが備え付けられている。 利用者は家族等と相談しながら使い慣れたタンスや整理箱、椅子、テレビ、固定電話を設置するなど、思い思いの物品を持ち込み居心地よく過ごせるように工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや居室の入り口には、目印などを飾りつけ、迷わないように工夫をしています。また、車イスで歩行が困難の方でも、洗面所へ行きご自分の手で水に触れて頂き、手や顔を洗ったり出来るように工夫しました。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない



(様式4)

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームSunふぁみりい

作成日 平成24年11月30日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	避難訓練後、反省点や次への改善について話した記録が無い。	話しあった内容を記録する	訓練後ミーティングの実施内容を記録し書面に残す。	次回訓練時より
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。